

**千代田まちづくりサポート事業
助成グループアンケート調査**

結果

2003年8月13日

<概要>

対象：第4回までの助成グループ27団体(団体代表者、問4のみグループメンバー個人)

期間：03.7.22～03.7.31

配布回収方法：郵送配布、郵送又はFAX回収

回収状況：回答18団体、回収率66.7%(03.8.15現在)

回答者28名(問4：個人回答)

<設問構成>

問 1. 活動内容の概要

- ①グループ名
- ②活動分野
- ③設立時期
- ④人数
- ⑤予算規模
- ⑥活動エリア
- ⑦活動拠点
- ⑧情報発信の方法
- ⑨応募のきっかけ
- ⑩活動中の最大の課題

問 2. 「まちづくりサポート」事業が果たした役割

- ①公開審査会の評価できる点と評価できない点
- ②公開審査会の影響
- ③中間発表会、成果発表会の影響
- ④助成金額の満足度

問 3. 助成を受けてからの活動の変化

- ①助成期間中の活動の展開
 - 1.活動の参加人数の変化
 - 2.マスコミ等で取り上げられた回数
 - 3.予算規模の変化
 - 4.活動エリアの広がり
 - 5.活動内容、成果
- ②対外関係の持ち方とその効果
 - 1.他のグループ
 - 2.地域、地元
 - 3.行政、公社
 - 4.企業
 - 5.その他
- ③助成終了後の活動状況

問 4. 「うれしいと思ったこと」、「感動したこと」、「心に残った言葉」

※問4のみグループのメンバー個人回答

※ (番外) 「本づくり」への提案

問 1. 皆さんのグループ、活動内容の概要を教えてください。

Q1-①グループ名

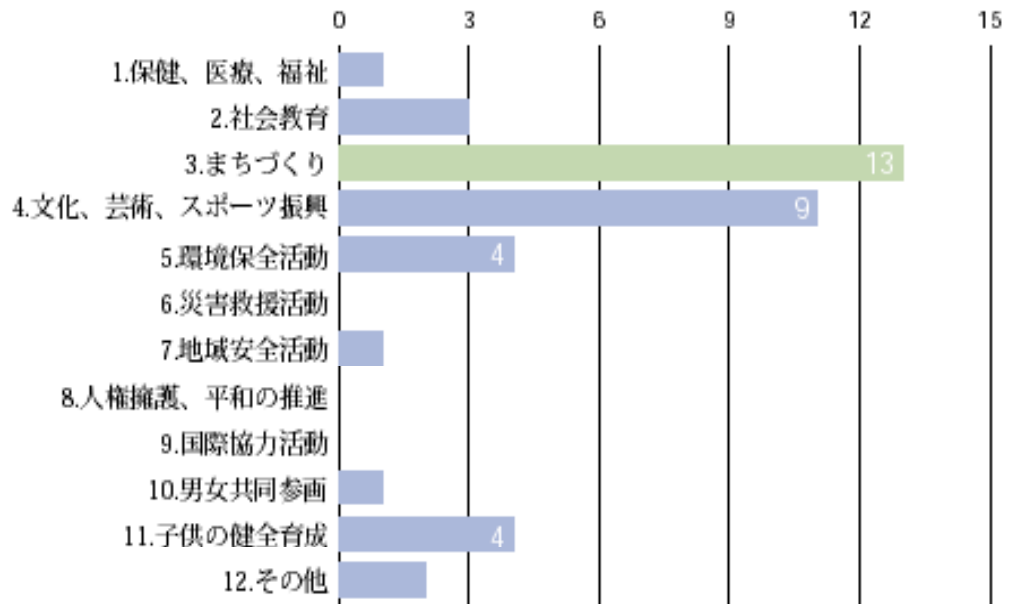
※太枠内: 第4回までの助成グループ27団体、黄色欄: 回答グループ

※表中数字は助成額(万円)

<サポート事業の助成グループ一覧>

	グループ名	H10.10	H11.10	H12.10	H13.10	H14.11	アンケート回答グループ
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	
1	江都天下祭研究会 神田倶楽部	● 15	● 20	● 50			●
2	江大江戸天下祭フォーラム実行委員会	● 20	● 14				●
3	飯田橋地域の開発を考える会	● 20	● 18	● 35			
4	まちづくり神田工房	● 21	● 28				
5	牛込見附復活検討委員会⇒外堀遊縁研究会	● 35.5	● 41	● 50			●
6	『みらい』都心居住促進研究会 ⇒NPO都市住宅とまちづくり研究会	● 14	● 12				
7	S U	● 24	● 30				
8	防災公園研究会	● 20					
9	TOKYO住環境研究会	● 22	● 27				
10	千代田健康活動クラブ「チャオ」	● 35.5	● 29				●
11	歴史・文化のまちづくり研究会	● 18					●
12	「神田を往く」	● 11					
13	KAWAYA	● 23					
14	神田市場研究会	● 7	● 7				●
15	人のいる広場・道づくり研究会	● 14					●
16	まちづくり走り屋“道楽衆” ⇒東京ロードランナーズ・クラブ		● 13				●
17	QQT		● 5				●
18	神田探偵団		● 16				
19	番町文学会⇒番町まちづくり文学館		● 11	● 25	● 50		●
20	花咲かじいさん		● 29	● 50	● 50		●
21	みんなの居場所提案会			● 10			
22	SOBART実行委員会 ⇒千代田活性化アート活動研究会			● 50	● 50		●
23	神田蕎麦の会			● 30	● 20	● 50	●
24	(NPO)学習環境デザイン工房				● 30	● 26	●
25	秋葉屋ドットコム				● 40	● 36	●
26	花・風の会				● 30	● 37	●
27	子どもと一緒にデザインしよう会				● 30	● 30	
28	千代田区子ども110番連絡会					● 32	
29	ACIプロジェクト					● 20	
30	旧五十通り復興会					● 20	
31	東京を自転車でする会					● 29	
32	神田スタイル研究会					● 5	
33	さぼてん					● 26	
34	神田アキナイ会					● 12	
35	岩本町1丁目街づくりネットワーク					● 29	
36	神田神保町 本やの会					● 10	
37	G.E.L.C(ジェルシー:環境サークル)					● 10	
38	コマンドN					● 38	
39	東デ コラボレーションチーム					● 15	
40	共同建替えと地域を考える会					● 15	
41	市井人・斎藤月峯に学ぶ会					● 45	
42	コミュニティデザイン協議会					● 18	
	助成総額(万円)	300	300	300	300	500	総額1700
	助成グループ総数	15	15	8	8	20	
	(新規)	15	5	3	4	15	42(3年卒業組=6)
	(継続)	-	10	5	4	5	
	応募グループ	18	22	15	12	30	
	(新規)	18	10	5	6	25	64
	(継続)	-	12	10	6	5	
	非助成グループ	3	7	7	4	10	
	(新規)	3	5	2	2	10	22
	(継続)	-	2	5	2	0	

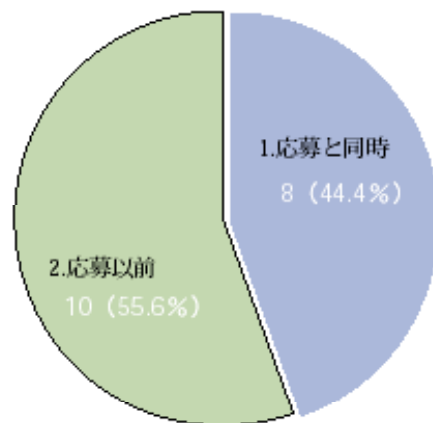
Q1-②活動分野：貴グループの活動分野として、当てはまるものに○を付して下さい。いくつでも結構です。



<その他>

- ・ 史跡保存復元、郷土史継承
- ・ 歴史的建造物の保存・活用

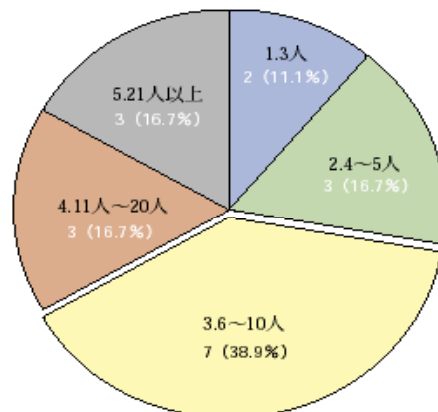
Q1-③設立時期：貴グループの設立時期について、当てはまるものを一つ選び○を付して下さい。



<応募以前設立年>

- ・ 平成 12 年× 1 グループ
- ・ 平成 10 年× 3 グループ
- ・ 平成 9 年× 1 グループ
- ・ 平成 7 年× 1 グループ
- ・ 平成 6 年× 1 グループ
- ・ 不明× 3 グループ

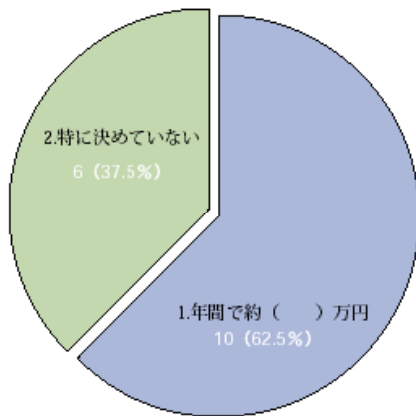
Q1-④人数：サポート事業での活動も含めた平均的な活動人数について、当てはまるものを一つ選び○を付して下さい。



<その他>

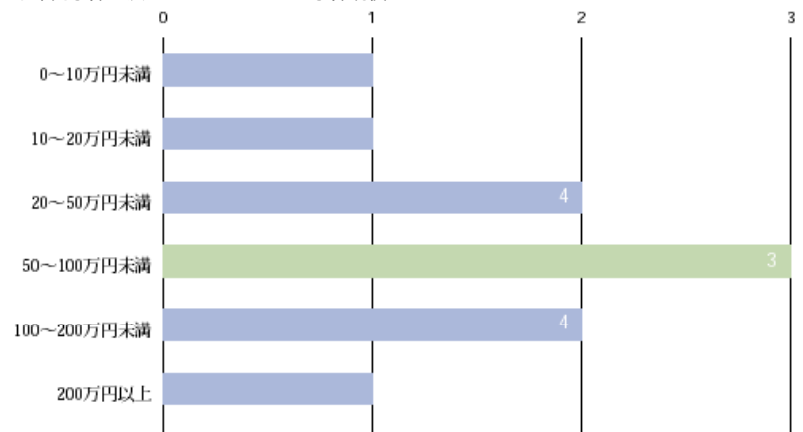
- ・ 地域アドバイザー制度活用

Q1-⑤予算規模：サポート事業での活動も含めた平均的な予算規模について、()にご記入下さい。

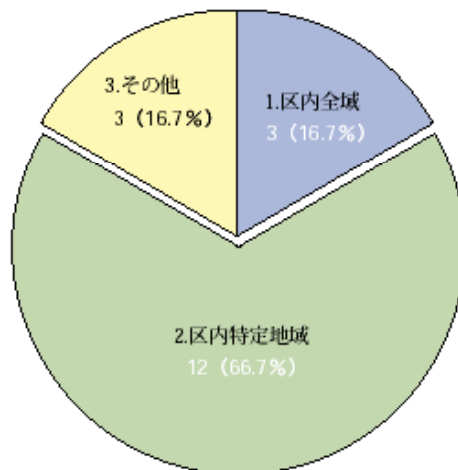


※無回答：2

●年間予算を決めているグループの予算規模：10グループ



Q1-⑥活動エリア：貴グループの中心的な活動エリアについて、当てはまるものを一つ選び○を付し、()にご記入下さい。



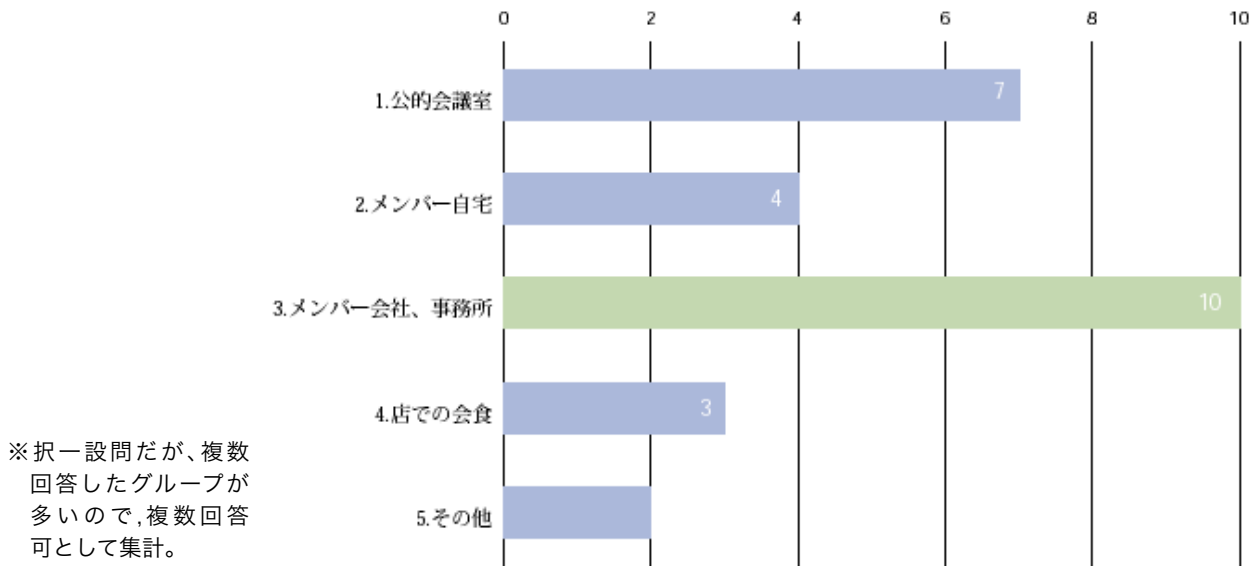
<区内特定地域>

- ・富士見地区、江戸城外濠と内濠の間
- ・清水谷公園のつながる緑
- ・淡路地域
- ・神田明神氏子地区
- ・番町麴町界限
- ・九段 1-9-5 一帯、飯田橋 2-3 目白通り
- ・神田地域
- ・早稲田通り
- ・神田多町周辺地区
- ・神田多町二丁目
- ・秋葉原
- ・一番町、いきいきプラザ、皇居

<その他>

- ・日本全域
- ・都内中心

Q1-⑦活動拠点：貴グループの活動拠点について、当てはまるものを一つ選び○を付して下さい。

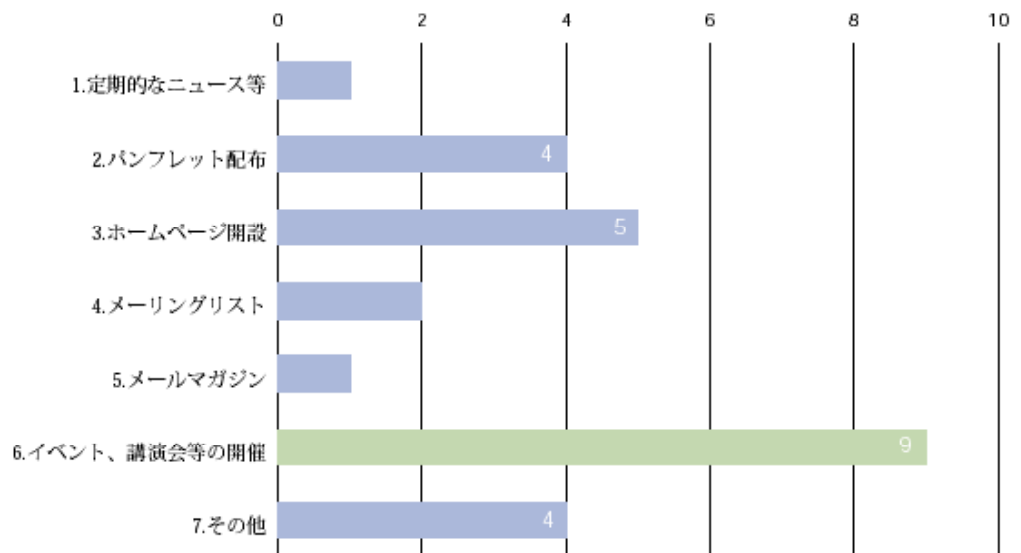


※ 択一設問だが、複数回答したグループが多いので、複数回答可として集計。

<その他>

- ・ 学校、店の提供先
- ・ 大学

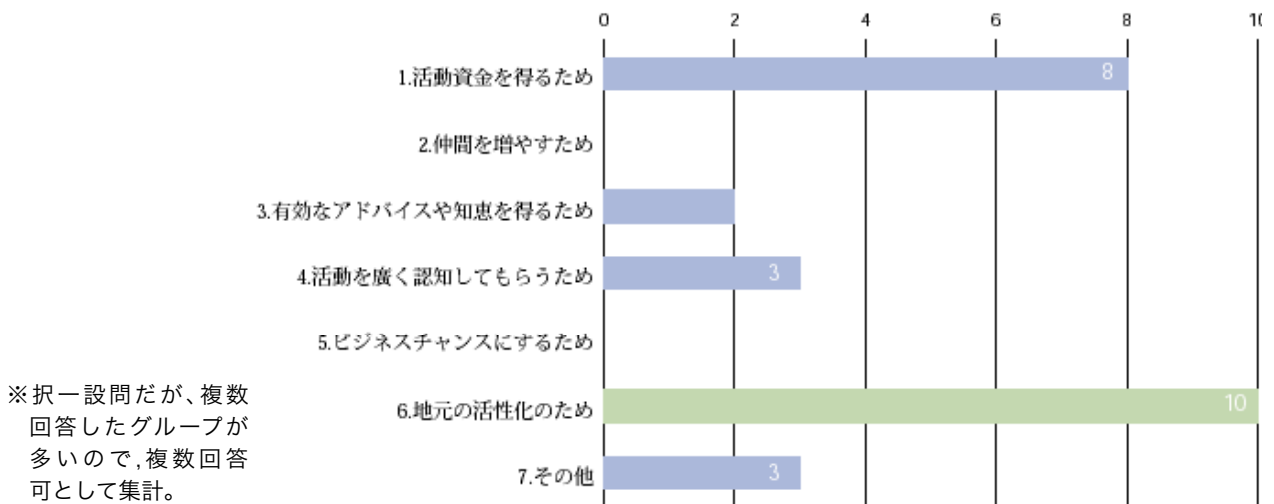
Q1-⑧情報発信：貴グループの対外的な情報発信の方法について、当てはまるものに○を付して下さい。いくつでも結構です。



<その他>

- ・ 建設業界誌に連載中
- ・ 主旨に合致したマスコミのみ対応
- ・ 成果物マップのみ
- ・ イベント報告書配布

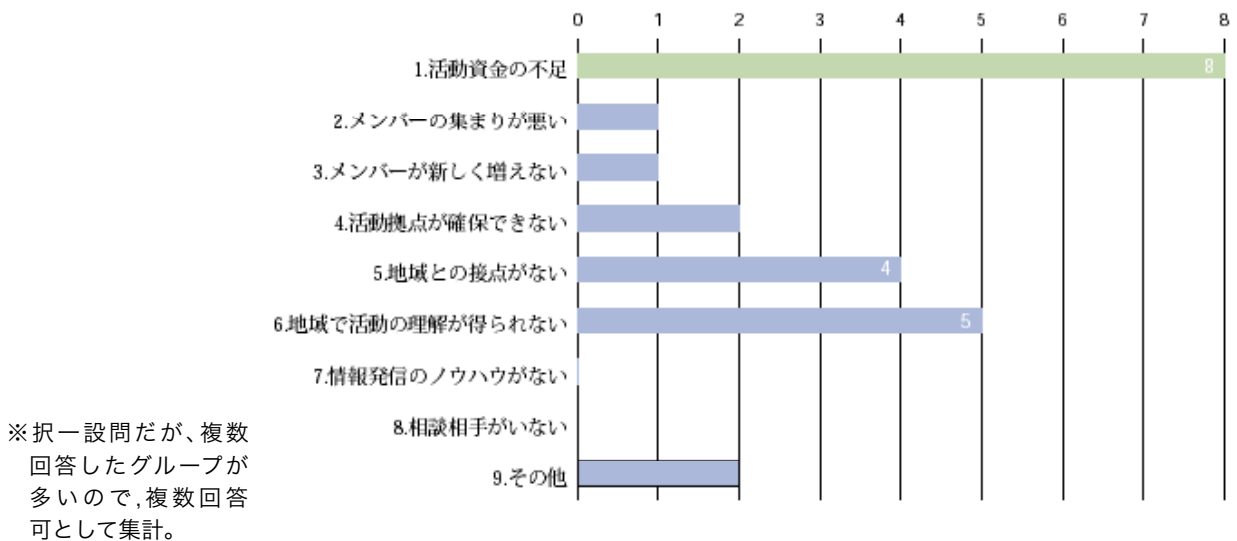
Q1-⑨応募のきっかけ：サポート事業に応募したきっかけは何ですか？最も近いと思うものを一つ選び○を付して下さい。



<その他>

- ・ 地域に対する奉仕作業
- ・ 地域の緑化推進
- ・ 区内に、特に多町周辺に歴史的建造物が多くのことっていたので。

Q1-⑩活動中の最大の課題：サポート事業での活動を通して最大の課題は何でしたか？最も近いと思うものを一つ選び○を付して下さい。



<その他>

- ・ 資料が膨大、作業が繊細、義理人情がキーワードだけに事業が動きだすと仕事もままならない。
- ・ まとまった時間が確保できない
- ・ (地域との) 距離感

問 2. 「まちづくりサポート」事業が、貴グループの活動によって果たした役割についてお聞きします。

Q2-①公開審査会の評価できる点と評価できない点：公開審査会について、評価できる点と評価できない点をそれぞれ御指摘下さい。どちらか一つだけにご回答いただいても結構です。

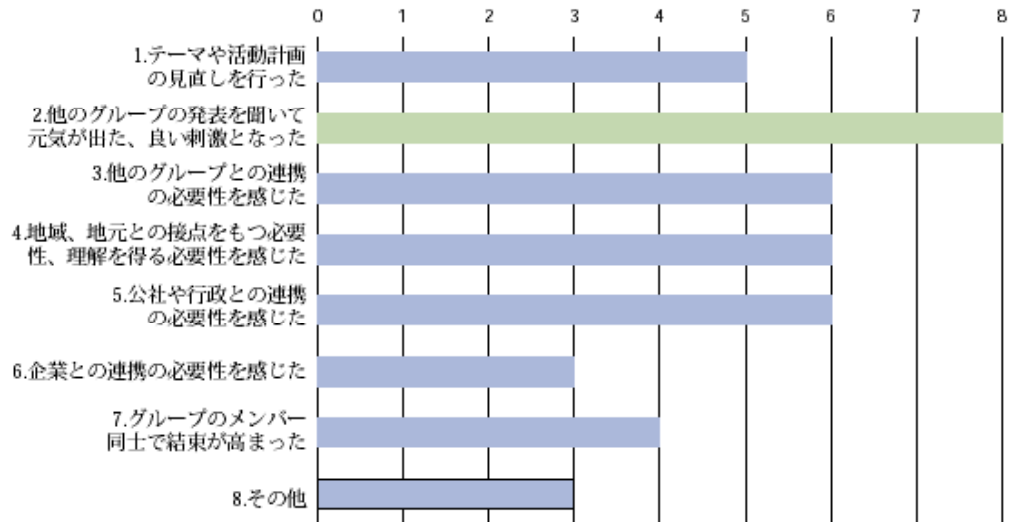
a. 公開審査会の評価できる点

- ・オープン形式というのがウソもなく隠しもなく堂々としていてまちづくりの原点だと思う
- ・本来としての「公開審査会」の位置付け、主旨、企画意図は判らないが、活動の発生、起因を問いただすところ。金もうけか、企業進出か、奉仕作業か、それを問うところ。
- ・他のグループ活動の状況を知ることができたこと。
- ・公平無私。
- ・様々な視点からの評価が得られた。
- ・助成決定システムが明快。審査委員の方々のコメントが適切でしげきになった。趣味的な活動ではあったが社会的な意義が多少なりともあったと自覚できたこと。
- ・審査委員の諸先生方の幅広い専門的な知識を頂戴できたこと。
- ・他のグループの活動を知る機会であり、仲間づくりに役立つ。
- ・オープンである。公平である。団体同士の交流が生まれる点はとても良い。
- ・他グループのことがわかって良い。審査プロセスがわかる点が良い。誰がどのような意見なのか判る点が良い。
- ・他グループの活動方法を知ることができる。
- ・他グループの活動がわかり、自分たちの位置がよくわかる（評価、レベルなど）。
- ・よく吟味して発表にのぞめる。
- ・地元の人、行政の人、専門家等、様々な人が審査員になっていること。
- ・全ての情報がオープンである事。

b. 公開審査会の評価できない点

- ・金額が絡むと納得できない部分が多くある。なぜあのグループに金額が出るのか等。
- ・審査委員にスポーツの判る人がいない点。
- ・まちづくりを実践的に経験している人、ボランティア、町内会奉仕などに日々汗をかいている人、まちづくりにはマニュアル書もなく、自然発生、自然消滅であることを知っている人の評価はためになるが、評論家の世界での意見は活動自体をダメにする。
- ・ほんとうにまちづくりに役に立つテーマであるか。
- ・時間がトータルで大変長いこと。
- ・行政、審査員が、市民団体を審査するという構図。ほとんどの行政担当者、審査員は、プロジェクトをほとんど見に来ない。たった 10 分の話で評価を下すことはどうなのか？本当のまちづくりは、行政、市民、知識人が、共に同じ土俵にたって汗を流すことから始まるのではないか。
- ・審査員の方々がボランティアで活動している大変さを理解得ない状況でされること。
- ・時間がかかる。
- ・時間が長すぎる。

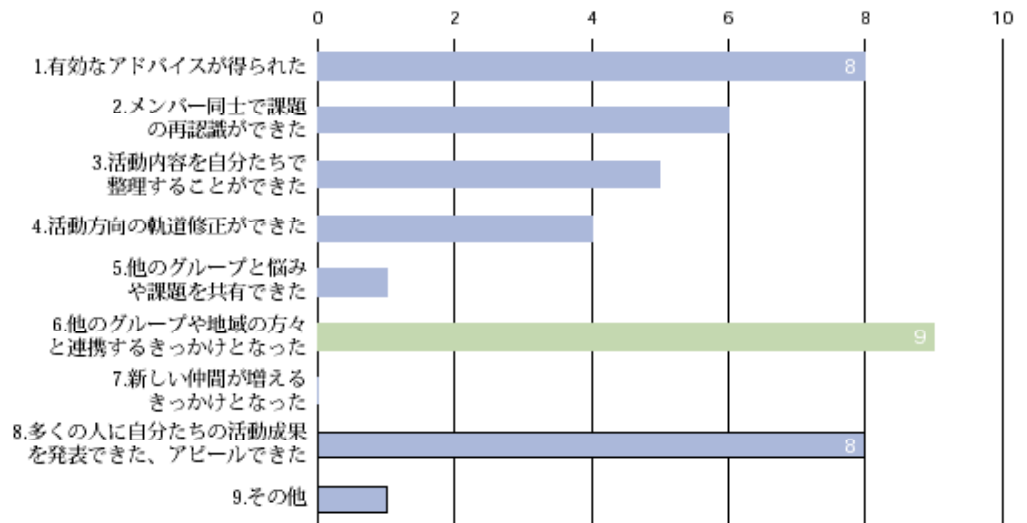
Q2-② 公開審査会の影響：公開審査会の結果を受けて、貴グループにはどのような影響がありましたか？
貴グループのお考えに最も近いと思うものを次の中から選んで○を付して下さい。いくつでも結構です。



<その他>

- ・ 審査の手前、活動資金を必要とすることから見直しをせざるを得なかった
- ・ 「人のいる広場・道づくり研究会」を発展解消し「緑キャノピーズ」とした
- ・ われわれグループの考えている活動とのズレを感じた

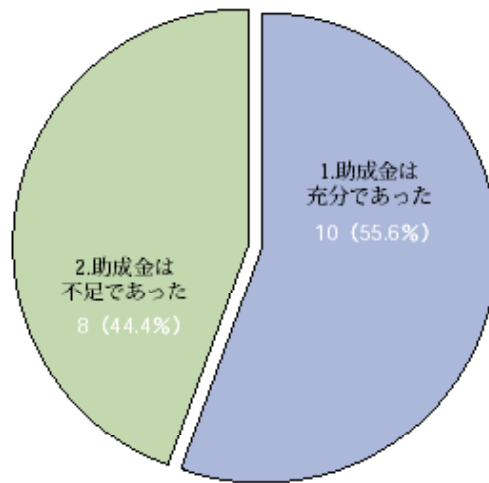
Q2-③ 中間発表会、成果発表会の影響：中間発表会、成果発表会は、貴グループにとってどのような影響がありましたか？ 貴グループのお考えに最も近いと思うものを次の中から選んで○を付して下さい。いくつでも結構です。



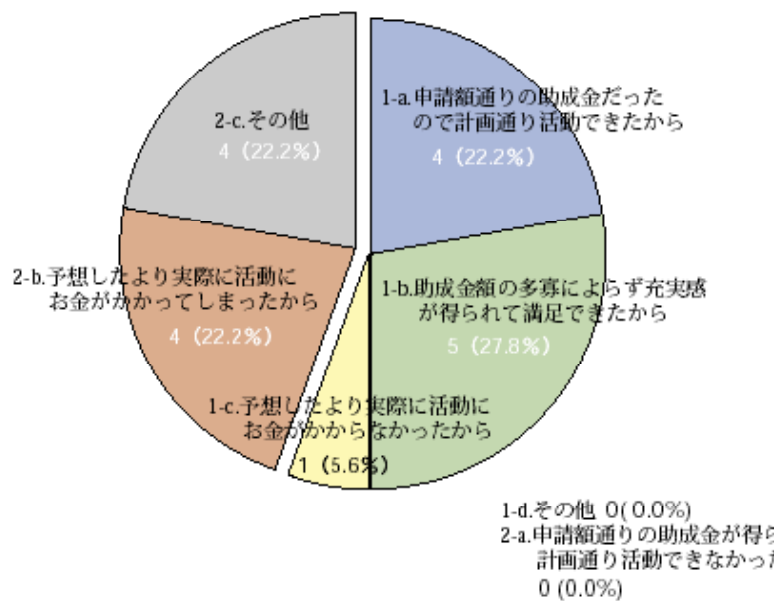
<その他>

- ・ こうした地域活動もあることを知ってもらう機会が増えた

Q2-④助成金額の満足度：貴グループにとって、まちづくりサポートによる助成金額は充分でしたか？「充分」か「不足」か一つ選んで○を付して下さい。また、その理由も同様に一つ選んで○を付して下さい。



<理由>



< 2-c. 不十分であった理由：その他 >

- ・「予想したより」というのは審査員の意見を反映したためである。実践を知らない。無理な作業が増えた。理想ばかり言っているのは金ばかりかかる。けれども審査員の意見ともなればやらざるを得なかった。
- ・事務運営費は持ち出しになっている
- ・特定区域の活動から区内全域への広がりができない。
- ・申請金通りの金額はもらえたが、継続的に質の良いプロジェクトを行うには足りない。
- ・先を考えた活動を行おうと思うと不十分

問 3. 助成を受けてからの貴グループの活動の変化についてお聞きします。

Q3-①助成期間中の活動の展開：貴グループは、サポート助成を受けてどのように活動を展開させていましたか？助成年度に沿って下記の1.～5.の項目について教えてください。4.、5.は、具体的に記述して下さい。

1. 活動の参加人数の変化 (人)

	グループ名		助成1年目	助成2年目	助成3年目
3年卒業組	外濠遊縁研究会	a.コアメンバー	7	7	6
		b.会員数	10	10	8
		c.イベント等参加者	-	-	-
	江都天下祭研究会 神田倶楽部	a.コアメンバー	6	6	6
b.会員数		20	30	50	
c.イベント等参加者		30	40	40	
番町まちづくり文学館	a.コアメンバー	2	2	2	
	b.会員数	10	10	10	
	c.イベント等参加者	-	-	-	
花咲かじいさん	a.コアメンバー	10	10	10	
	b.会員数	30	30	30	
	c.イベント等参加者	40～50	40～50	40～50	
助成2年組	神田蕎麦の会※	a.コアメンバー	12	12	
		b.会員数	12	12	
		c.イベント等参加者	2000	3000	
	神田市場研究会	a.コアメンバー	3	3	
		b.会員数	3	3	
c.イベント等参加者		3	10		
大江戸天下祭フォーラム実効委員会	a.コアメンバー	24	27		
	b.会員数	24	27		
	c.イベント等参加者	200	200		
千代田活性化アート活動研究会 art@LIFE※	a.コアメンバー	2	2		
	b.会員数	3～4	3～4		
	c.イベント等参加者	5～6	5～6		
千代田健康クラブ「チャオ」	a.コアメンバー	3	3		
	b.会員数	-	18		
	c.イベント等参加者	-	-		
助成1年組	町づくり走り屋道楽衆(現:NPO法人市百歩走者学会)	a.コアメンバー	5		
		b.会員数	-		
		c.イベント等参加者	30		
	人のいる広場・道づくり研究会	a.コアメンバー	6		
		b.会員数	-		
		c.イベント等参加者	-		
	まちづくりQQT	a.コアメンバー	8		
		b.会員数	11		
		c.イベント等参加者	3		
歴史・文化のまちづくり研究会	a.コアメンバー	7			
	b.会員数	7			
	c.イベント等参加者	10			
花・風の会※	a.コアメンバー	10			
	b.会員数	-			
	c.イベント等参加者	-			
秋葉屋ドットコム※	a.コアメンバー	4			
	b.会員数	10			
	c.イベント等参加者	100			
NPO学習環境デザイン工房※	a.コアメンバー	9			
	b.会員数	15			
	c.イベント等参加者	9			
子供と一緒に遊ぼう会※	a.コアメンバー	10			
	b.会員数	20			
	c.イベント等参加者	-			
神田探偵団	a.コアメンバー	3～5			
	b.会員数	-			
	c.イベント等参加者	-			

※神田蕎麦の会は、第5回に3年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間2年として取り扱う。

※花・風の会、秋葉屋ドットコム、NPO学習環境デザイン工房、子供と一緒に遊ぼう会の4グループは、第5回に2年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間1年として取り扱う。

※千代田活性化アート活動研究会は、助成期間2年として取り扱う。

2. マスコミ等で取り上げられた回数 (回)

	グループ名		助成1年目	助成2年目	助成3年目
3年 卒業組	外濠遊縁研究会	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	2 1 - -	1 1 - -	1 - - -
	江都天下祭研究会 神田倶楽部	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	1 - - -	1 - - -	6 - - -
	番町まちづくり文学館	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- - - -	1 1 - -	1 - - -
	花咲かじいさん	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	1 1 - -	2 2 1 -	2 2 2 -
助成 2年組	神田蕎麦の会※	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	10 5 5 5	10 10 10 10	
	神田市場研究会	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- - - -	- - - -	
	大江戸天下祭フォーラム実効委員会	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	4 - - -	2 - - -	
	千代田活性化アート活動研究会art@LIFE※	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	8 7 3 2以上	- - - -	
	千代田健康クラブ「チャオ」	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- 1 - -	- - - -	
助成 1年組	町づくり走り屋道楽衆(現:NPO法人市百歩走者学会)	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- - 1 -	- - - -	
	人のいる広場・道づくり研究会	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- - - -	- - - -	
	まちづくりQQT	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- - - -	- - - -	
	歴史・文化のまちづくり研究会	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	2 4 - ?	- - - -	
	花・風の会※	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- - - -	- - - -	
	秋葉屋ドットコム※	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	3 - 2 1	- - - -	
	NPO学習環境デザイン工房※	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- - - -	- - - -	
	子供と一緒に遊ぼう会※	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	1 1 - -	- - - -	
神田探偵団	a.新聞 b.雑誌 c. TV d.ラジオ	- - 3 -	- - - -		

<総計>

a.新聞 59
b.雑誌 35
c. TV 27
d.ラジオ 18

※神田蕎麦の会は、第5回に3年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間2年として取り扱う。

※花・風の会、秋葉屋ドットコム、NPO学習環境デザイン工房、子供と一緒に遊ぼう会の4グループは、第5回に2年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間1年として取り扱う。

※千代田活性化アート活動研究会は、助成期間2年として取り扱う。

3. 予算規模の変化 (万円)

	グループ名		助成1年目	助成2年目	助成3年目
3年 卒業組	外濠遊縁研究会	a. 補助助成	35.5	41	50
		b. その他	64.5	59	50
	江都天下祭研究会 神田倶楽部	a. 補助助成	20	25	50
		b. その他	-	-	-
番町まちづくり文学館	a. 補助助成	11.5	27	50	
	b. その他	-	-	-	
花咲かじいさん	a. 補助助成	29	50	50	
	b. その他	-	-	-	
助成 2年組	神田蕎麦の会※	a. 補助助成	30	20	
		b. その他	-	-	
	神田市場研究会	a. 補助助成	7	7	
		b. その他	-	-	
	大江戸天下祭フォーラム実効委員会	a. 補助助成	17	50	
b. その他		50	50		
千代田活性化アート活動研究会 art@LIFE※	a. 補助助成	50	25		
b. その他	-	-			
千代田健康クラブ 「チャオ」	a. 補助助成	35.5	29		
	b. その他	-	-		
助成 1年組	町づくり走り屋道楽衆(現:NPO法人市百歩走者学会)	a. 補助助成	14		
		b. その他	-		
	人のいる広場・道づくり研究会	a. 補助助成	14		
		b. その他	-		
	まちづくりQQT	a. 補助助成	5		
		b. その他	-		
	歴史・文化のまちづくり研究会	a. 補助助成	18		
		b. その他	-		
花・風の会※	a. 補助助成	30			
	b. その他	-			
秋葉屋ドットコム※	a. 補助助成	40			
	b. その他	-			
NPO学習環境デザイン工房※	a. 補助助成	30			
	b. その他	-			
子供と一緒に遊ぼう会※	a. 補助助成	30			
	b. その他	-			
神田探偵団	a. 補助助成	16			
	b. その他	-			

※神田蕎麦の会は、第5回に3年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間2年として取り扱う。

※花・風の会、秋葉屋ドットコム、NPO学習環境デザイン工房、子供と一緒に遊ぼう会の4グループは、第5回に2年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間1年として取り扱う。

※千代田活性化アート活動研究会は、助成期間2年として取り扱う。

4. 活動エリアの広がり

	グループ名	助成1年目	助成2年目	助成3年目
3年 卒業組	外濠遊縁研究会	飯田橋駅西口とその 周辺、国指定江戸城 史跡	富士見地域、牛込御 門と田安門外	阿波徳島、小田原、 桐生他、牛込御
	江都天下祭研究会 神田倶楽部	明神氏子地区	明神氏子地区	明神氏子地区
	番町まちづくり文学館	六番町	二、四、五番町	一、三番町、麴町
	花咲かじいさん	早稲田通り、白百合 通り(樹木の根本)	早稲田通り、白百合 通り(樹木の根本)	早稲田通り、白百合 通り(樹木の根本)
助成 2年組	神田蕎麦の会 [※]	神田地域	神田地域	
	神田市場研究会	神田地域	神田地域	
	大江戸天下祭フォー ラム実効委員会	-	-	
	千代田活性化ア ート活動研究会 art@LIFE [※]	そばマップの範囲	岩本町	
	千代田健康クラブ 「チャオ」	-	-	
助成 1年組	町づくり走り屋道 楽衆(現:NPO法 人市百歩走者学会)	皇居周り周回歩道		
	人のいる広場・道 づくり研究会	清水谷公園よりつな がる緑化		
	まちづくりQQT	万世橋地域		
	歴史・文化のまち づくり研究会	神田多町を中心とし た5町の地区		
	花・風の会 [※]	九段北1-9-7		
	秋葉屋ドットコム [※]	-		
	NPO学習環境デザ イン工房 [※]	区内+お茶の水小 学校		
	子供と一緒に遊ぼ う会 [※]	区内全児童館 神田・富士見地区小 学校		
神田探偵団	-			

※神田蕎麦の会は、第5回に3年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間2年として取り扱う。

※花・風の会、秋葉屋ドットコム、NPO学習環境デザイン工房、子供と一緒に遊ぼう会の4グループは、第5回に2年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間1年として取り扱う。

※千代田活性化アート活動研究会は、助成期間2年として取り扱う。

5. 活動内容、成果

	グループ名	助成1年目	助成2年目	助成3年目
3年卒業組	外濠遊縁研究会	牛込御門復活に関するアンケート調査、牛込御門築城に関する史料収集と職人の交流	復元図、復元模型作成、復元工法、資金調達等検討、復元モニタージュ作成	牛込御門及び外濠を素材とした地域活性グッズを検討、見附を核に早稲田通り、九段坂、田安門までの整備検討→縁のある地元小学校、徳島県に成果寄贈→千両祭り参画、江戸城御門内の歴史と文化を伝える活動発表→御門ゆかり阿波踊り実施→江戸かつぼれ実施
	江都天下祭研究会 神田倶楽部	強会、見学会	強会、見学会	強会、見学会
	番町まちづくり文学館	番町文芸地図 vol.1印刷	vol.2 印刷	vol.3 印刷
	花咲かじいさん	富士見小学校夏のキッズフェス	富士見小学校夏のキッズフェス	富士見小学校夏のキッズフェス、手作りバザー開催
助成2年組	神田蕎麦の会※	冊子印刷、ソバアート	子供たちへの蕎麦イベント、ソバアート	
	神田市場研究会	地図作成	作製した地図の意味をヒアリングで検証、その結果をリーフレットとしてまとめた	
	大江戸天下祭フォーラム実効委員会	冊子印刷	冊子印刷	
	千代田活性化アート活動研究会 art@LIFE※	-	リサーチ発表。冊子配布。岩本町活動の準備	
	千代田健康クラブ「チャオ」	-	健康づくりするヘルパーさん達が毎年増えている	
助成1年組	町づくり走り屋道楽衆(現:NPO法人市百歩走者学会)	ランニングイベント開催		
	人のいる広場・道づくり研究会	-		
	まちづくりQQT	冊子印刷		
	歴史・文化のまちづくり研究会	報告書印刷、地区ニュース発行、歴史的建造物残存調査、ヒアリング調査		
	花・風の会※	-		
	秋葉屋ドットコム※	アキバハウス展示会		
	NPO学習環境デザイン工房※	パソコン教室1回、冊子印刷、冊子の学校活用		
	子供と一緒に遊ぼう会※	イベント、コンテスト、ワークショップ、祭、授業		
神田探偵団	パネル5点作成			

※神田蕎麦の会は、第5回に3年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間2年として取り扱う。

※花・風の会、秋葉屋ドットコム、NPO学習環境デザイン工房、子供と一緒に遊ぼう会の4グループは、第5回に2年目継続中。4年目までを対象としているので、ここでは助成期間1年として取り扱う。

※千代田活性化アート活動研究会は、助成期間2年として取り扱う。

Q3-② 対外関係の持ち方とその効果：貴グループは、助成期間中に、他グループ、地域、行政(公社含む)、企業などとそれぞれどのような働きかけや係わりを持ちましたか？また、その結果どのようなことが実現しましたか？それぞれの対象毎に下記に記述して下さい。

1.他のグループ	a.どのような働きかけ、係わりを持ちましたか？	b.その結果どのようなことが実現しましたか？
外濠遊縁研究会	・「花咲じいさん」を支援	・牛込御門、早稲田通りがきれいになった
江都天下祭研究会 神田倶楽部	-	-
番町まちづくり 文学館	-	-
花咲かじいさん	・コミュニティガーデン(神田SU)からの依頼	・人との交流
神田蕎麦の会 [※]	・共同でソバアート開催	・企業から協賛の申出、区からの援助
神田市場研究会	-	-
大江戸天下祭フォーラム実効委員会	・子供と一緒にデザインしよう会、千代田子供110番連絡会	・イベント運営協力、動員協力
千代田活性化アート活動研究会 art@LIFE [※]	・神田蕎麦の会にプロジェクトの協力を依頼。かわりにそばマップを企画制作する。	・そばアートを共催。
千代田健康クラブ「チャオ」	-	・健歩協会のメンバーとも一緒に健康づくり活動を進めるようになった
町づくり走り屋道楽衆(現:NPO法人市百歩走者学会)	-	-
人のいる広場・道づくり研究会	-	-
まちづくりQQT	-	-
歴史・文化のまちづくり研究会	・神田に関するグループの方に勉強会等に参加いただいた。	・歴史的建造物の所有者の方々に貴重なお話を伺うことができた。
花・風の会 [※]	・コミュニティガーデン	・千代田区屋上緑化
秋葉屋ドットコム [※]	-	-
NPO学習環境デザイン工房 [※]	・コミュニティデザイン協議会、子供110番連絡会さんのワークショップ、講習会にスタッフとして参加	・パソコン教室企画へのアドバイス、参加募集ルートを教えてもらった。
子供と一緒に遊ぼう会 [※]	・他のグループの活動に子供が参加できないか持ちかけた	・蕎麦のコンテストで子供たちのアイデアを実現させる場を作った
神田探偵団	・神田倶楽部、大江戸天下祭りフォーラム	・本の出版のスタッフとなり様々なイベントに協力

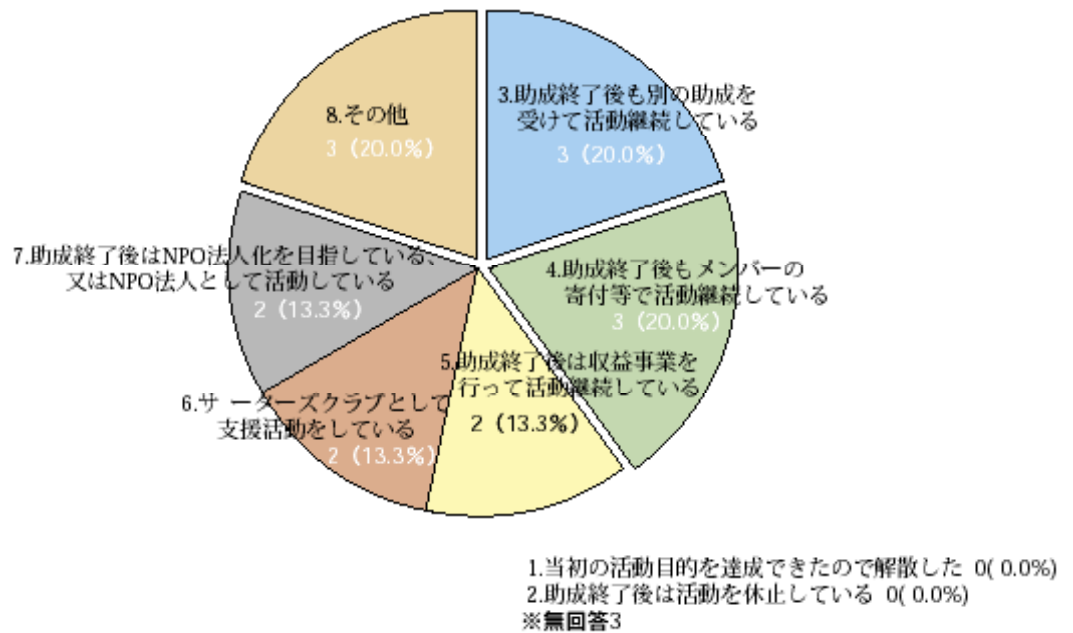
2.地域、地元	a.どのような働きかけ、係わりを持ちましたか？	b.その結果どのようなことが実現しましたか？
外濠遊縁研究会	・御門復活、地域観光まちづくりに関する意識調査や改まった交流を実施	・同じ問題意識を持つ人が多く、会の支持者が増えた。その分プレッシャーと飲み会、仕事が増えてきた
江都天下祭研究会 神田倶楽部	・町会長へ依頼	・町会歴史
番町まちづくり 文学館	・六番町会との連携	・町会員への配布
花咲かじいさん	・作業の都度連絡(チラシ案内等)	・人との交流、フリーマーケットを開始する店ができてきた
神田蕎麦の会※	・元来が地元密着ですので特には。	・企業から協賛の申出、区からの援助
神田市場研究会	・リレー方式のヒアリングを行った	・産業連関に沿ってヒアリングできた
大江戸天下祭フォーラム実効委員会	-	-
千代田活性化アート活動研究会 art@LIFE※	・東神田、岩本町問屋街に企画持ち込み	・継続的に岩本町ファミリーバザーに係わることになる。
千代田健康クラブ「チャオ」	・宣伝効果は広告が出たときのみ	-
町づくり走り屋道楽衆(現:NPO法人市百歩走者学会)	-	-
人のいる広場・道づくり研究会	・六番町有志	-
まちづくりQQT	-	-
歴史・文化のまちづくり研究会	・「これは」と思う建物を使用している方々へのヒアリング。	・家の中を見せて頂いたり、使い方を教えて下さった。
花・風の会※	・飯田橋町会参加	・環境事業部、防災部、ラジオ体操役員に参加するようになった
秋葉屋ドットコム※	-	-
NPO学習環境デザイン工房※	・四番町会長にアドバイスもらった。	・資料の紹介、人脈の広がり。
子供と一緒に遊ぼう会※	・地域の祭に子供たちがより元気に、より楽しく参加型で行うイベントをすること	・キッズフェスティバルや三町会子供縁日で参加型イベントができた
神田探偵団	-	・様々なイベントに参加

3.行政、公社	a.どのような働きかけ、係わりを持ちましたか？	b.その結果どのようなことが実現しましたか？
外濠遊縁研究会	・会はパソコン技術、機器センスが無い。資料が莫大でその整理やPR方法を相談	・考え方は理解できたがPR紙や記録までは実現できなかった
江都天下祭研究会 神田倶楽部	・江戸博北原氏	・見学会への参加
番町まちづくり文学館	・連合町会イベントへの企画参加	・さんさん千代田での冊子作成、配布
花咲かじいさん	・公社:江戸開府400年次業の助成金 ・行政:早稲田通りアダプトシステム	・3年間の「まちづくりサポート」の助成が終了後も活動を継続できた
神田蕎麦の会※	-	-
神田市場研究会	・地元の方々を紹介いただいた	・公社の紹介と言うことでスムーズにヒアリングできた
大江戸天下祭フォーラム実効委員会	・千代田区、東京都	・後援ほか
千代田活性化アート活動研究会 art@LIFE※	・ハウスアキバの活用について相談を受ける。	・アーティストにアンケート調査実施。それをまとめ提言した、何も実現せず。
千代田健康クラブ「チャオ」	-	-
町づくり走り屋道楽衆(現:NPO法人市百歩走者学会)	-	-
人のいる広場・道づくり研究会	・街づくり公社から指導を受けた	-
まちづくりQQT	-	-
歴史・文化のまちづくり研究会	・勉強会に参加して頂いた。その他アドバイスを頂いた。	-
花・風の会※	・千代田区道路公園課、公社サポート担当	・東京都都道の休眠地に公園をつくりまた目白通りのゴミやタバコなども清掃し、ゴミの少ない街並みになってきた
秋葉屋ドットコム※	-	-
NPO学習環境デザイン工房※	・四番町歴史民俗資料館⇒ ・教育委員会指導課⇒	・資料の提供(予) ・会場の紹介
子供と一緒に遊ぼう会※	-	-
神田探偵団	-	-

4.企業	a.どのような働きかけ、係わりを持ちましたか？	b.その結果どのようなことが実現しましたか？
外濠遊縁研究会	・ある一定の方向が見えるまでは係わりを持ちたくなかった	-
江都天下祭研究会 神田倶楽部	-	-
番町まちづくり 文学館	-	-
花咲かじいさん	・まちづくりのタメノハンギングバスケットの依頼有り。 ・店の前の花鉢の作成依頼有り。	・まちが明るくなったとの声 ・店の客が増えたと喜びの声
神田蕎麦の会 [※]	・神田学会への入会、協賛を募る。	・多くの地元企業が協力してくれました。
神田市場研究会	-	-
大江戸天下祭フ ォーラム実効委 員会	-	-
千代田活性化ア ート活動研究会 art@LIFE [※]	・そばアートの際、多数社に協賛、参加の依頼。	・協賛、協力を受ける
千代田健康クラ ブ「チャオ」	・マップ作り資金出資の依頼	・実現しなかった
町づくり走り屋道 楽衆(現:NPO法 人市百歩走者学会)	-	-
人のいる広場・ 道づくり研究会	-	-
まちづくりQQT	-	-
歴史・文化のま ちづくり研究会	-	-
花・風の会 [※]	-	-
秋葉屋ドットコ ム [※]	・協賛依頼	・サンプル作品製作等
NPO学習環境デ ザイン工房 [※]	-	-
子供と一緒に遊 ぼう会 [※]	-	-
神田探偵団	-	-

5.その他	a.どのような働きかけ、係わりを持ちましたか？	b.その結果どのようなことが実現しましたか？
外濠遊縁研究会	・逆に町づくりグループからの働きかけが多い。	・牛込周辺で大規模な再開発が予定されている。(新宿側神楽坂、駅西口、ラムラ米倉、警察病院跡地)新宿側「神楽坂を考える会」が会として支持。一段と可能性が見えてきた。
江都天下祭研究会 神田倶楽部	-	-
番町まちづくり 文学館	-	-
花咲かじいさん	・区内公園を花の公園にとの声が多く届いている	-
神田蕎麦の会※	-	-
神田市場研究会	-	-
大江戸天下祭フ ォーラム実効委 員会	-	-
千代田活性化ア ート活動研究会 art@LIFE※	-	-
千代田健康クラ ブ「チャオ」	-	-
町づくり走り屋道 楽衆(現:NPO法 人市百歩走者学会)	-	-
人のいる広場・ 道づくり研究会	-	-
まちづくりQQT	-	-
歴史・文化のま ちづくり研究会	-	-
花・風の会※	-	-
秋葉屋ドットコ ム※	・美大等学生との交わり	・学生の社会との交わりを深めた
NPO学習環境デ ザイン工房※	-	-
子供と一緒に遊 ぼう会※	・学校では、授業でまちをとりあげた学習はできないかを持ちかけた。 ・児童館では、祭を企画運営したり新たなイベントを持ちかけたりした。	・3年生の社会科、総合学習によるまち学習 ・児童館の祭の企画運営 ・イベントの開催
神田探偵団	-	-

Q3-③助成終了後の活動状況：貴グループのサポート助成終了後の活動状況についてお聞きします。貴グループの状況に最も近いと思うものを次の中から一つ選んで○を付して下さい。なお、現在まだ助成を受けて活動継続中のグループは、今後の方針としてお答え下さい。



<その他>

- ・会費で運営している。地域の町づくりに参加している。
- ・助成終了後も活動を継続。資金はケースバイケースである。助成金に頼らずマイペースにやっています。
- ・今回のことが地域へ根付く様に考えたい。

問 4. あなたが、活動を通して最も「うれしいと思ったこと」、「感動したこと」、「心に残った言葉」等をご紹介下さい。

- ・和泉小学校へ手打ち蕎麦を教えに行ったとき、見ず知らずの長老の人に、江戸神田蕎麦の会のことをお話ししたら、ソバアートのことを知っていて神田の歴史を話していただき、「蕎麦屋の若旦那達は皆やる気があってありがたい、これからの神田をよろしく守って下さいよ。」と言われた時、自分たちのやっている事にまちがいはなかったんだ、地元のためにももっと努力しなければと思った一言でした。神田に生まれて育っても知らない人々の数の方が多いのは当たり前なのだけど、こういう活動を通じて人と人がふれあうきっかけになったのはとても嬉しかったです。
- ・地域の中で商売をする私たちにとって町づくりを言うのは、切っても切れない関係があり、こういう活動をすることによって町会や商店街の人達が注目をしてくれることがとても張り合いになりました。
- ・この助成制度のお陰で社会起業家になれました。
- ・あの草ぼうぼうの石山がすっかり御門の石垣に復活したこと。(近頃はまたつたが伸びてきたが)見知らぬ人から「あなたたちの活動を応援します。いつでも力を貸します。お金が必要なら差上げます。私が死ぬまでに絶対に実現して下さい」と言われた。牛込御門、次は九段坂、そしてその次は江戸城の復活。どこまでできるか、会員の意気込みです。
- ・(嬉しいと思ったこと)清水谷公園の存続に関心を保った人々が増えていく。樹木はもちろん、さりげない地被植物も珍しい種が現存している。(感動したこと)なんと言っても300年樹齢のケヤキの存在。大切に維持していくことを具体的に行いたい。(心に残った言葉)環境が替わりつつある都心の番町麴町地域も緑にとって決して良い状況ではないことを樹木医のアドバイスで知った。今後とも伏流水が断ち切られたり、超高層ビルの合間にもっと快適で景観も魅力的な緑化を市民として考えていきたい。国際的評価が取れるボリュームある緑化が考えられないか。
- ・(嬉しいと思ったこと)テーマは「人との交流」と「緑」であったので住民感の交流の場をつくりたいと思い、イベントを開催した。「緑」に関心を保つ住民の参加者と知り合いになれることはうれしかった。(感動したこと)街路樹ウォッチングで清水谷公園に樹齢300年近いケヤキの大木のあることを樹木医から教えられ大変感動し、守っていきたいと思った。(心に残った言葉)公開審査会や発表回答を通じて核グループの町に対する視点が面白かった。特に「祭」に関心が深いことにいささかびっくりして、神田祭を見たいという思いが生まれた。
- ・住んでいる人とそこに働きに来ている人々を学生・行政の方々と町づくりを通して地域をより良くしようと目的を持って活動している。
- ・神田明神氏子地区の他町会の人達と知り合いになれた。活動を通じて各地区の地域活動等を参考にしより良い町会への刺激となった。
- ・多くの賛同者が得られたこと。当初、審査員からもその成果についてあやぶまれていた中で、成果発表後次第に評価が高まっていったこと。まさに芋づるしきのように知的好奇心が自分の中に沸き上がったこと。地元の方々から高い評価を得て、地元連合町会のイベントの中に組み込んでもらいより成果を発展させることができたこと。
- ・大勢の人々に喜んでもらった反面、独りよがりもあって人様から随分反発も侮蔑もくらった。しかしサポートのこわい先生方から叱咤激励を受けたとき、また今だ、こりずに勇気がわいてくる。また、寒いときロシアの金髪の婦人たちから「ドーヴンウトロ スパシーバ

- スパシーバ」と一時の交流の後、ウクライナから花の種が届いたことなどなど。
- ・「自分にできることがあると」知ったとき。活動を通して人と知り合えたこと。
 - ・花が好きで参加させていただきました。花に参加して、外に出て手入れをするのがうれしい。花を見て「きれいですね」と言葉をかけてもらうととてもうれしく思います。グループの方々とも仲良く楽しく活動をしています。これからも続けたいと思います。
 - ・参加するまではまるで花に興味も関心もありませんでしたが、花を手入れしたり育てることの楽しさを知ることができました。また、今まで縁のなかった方々とも自分たちの住む地域を少しずつでも良くしていこうとする共通の意識にたつことができるようになりました。
 - ・(嬉しいと思ったこと)ヒアリングを通じて、形象として見えない都市活動がリアルに見えてきたこと。(心に残った言葉)講評で感動した言葉:「みんな」という感覚をどうシステム化していくかが問われている。「パブリック」とは、「官」でも「公」でもなく「共」かもしれない、新しい公共が問われている。自分たちのための活動をやっている訳だが、その活動が誰かに支えられている、背後に声無き市民の支持を得ているか、と考えること。
 - ・やりたいと思っていてもなかなか取り組めず、イメージだけ持っていたことが今回の取り組みできっかけをもらい、やれたことを非常にうれしく思っています。その後の秋葉原の買い物や散策時に違った感覚で町を見ることができ非常にありがたい経験をすることができました。
 - ・(嬉しいと思ったこと)たくさんの人と出会え、いろいろな話をすることができた。いろいろな視点から、まちを考えるきっかけができた。(感動したこと)「神田に店を出すのが夢だった」「自分の代でつぶれたといわれたくない」「神田へいけば材料がそろう」(心に残った言葉)仕事じゃないのに、こんなにも一生懸命にやってしまう人達を目の当たりし、がんばる力を体験できた。日々の練習を経て大会に臨むステップが、会合を繰り返して発表会に参加するステップに似ている。忘れかけていた高校時代のクラブ活動の熱気を思い出した。
 - ・富士見小学校の子供たちと花鉢の交換作業を持続する中、教育現場での子供たちとの交流ができたこと。花を通して「生命」の大切なことを伝えることができたこと。「花咲かじいさん」への子供たちのメッセージが綴られた二冊の本は感動しました。花の通りが一つずつ増えていっていることは大変うれしく思います。
 - ・天下祭が実現への一歩を踏み出したこと。
 - ・そば屋で「そばアートフェスティバル」を引き継ぎ開催してくれたこと。アートって面白いねと、そば屋を含め言ってくれたこと。
 - ・アートというものが社会の中でどれだけ小さい存在かということを感じさせられた。また、まちづくりという言葉の裏側に潜むものが、各々の立場で異なるということも実感した。そうした中で、町や店の声を知り、街に愛着が沸いたり、街の方がアートに関心をもってくれたりと、ということがとても嬉しいことでした。
 - ・地域の人々との関係が少しずつ構築され、そのことに伴い少しずつアートとの接点が生みだされていくのがうれしい。かかわった地域の人の中から「現代美術ファン」が生まれ、自発的に展覧会へ足を運んでくれるようになったことが感動。「アートって面白い」といつてもらったことも心に残っている。

- ・歴史的建造物が、地区内にけっこう多く残っていたことに感動しました。実際に所有者の方々にお話を伺い、建物に住まうこと、住み続けることにこだわりをもっておられたことが印象的でした。あれだけ高容積率の地区に住み続けることのむずかしさも同様に伝わってきました(パブルの話など)他のグループの方々と出会えたことも嬉しいことの一つです。活動のエネルギーになりました。
- ・自分たちのまわりにあるいろんな物が、一つ一つに目を向けることで本来の機能以外にも発展する可能性をみた。私たちはアートという点で製作したが美的にも使用(実際に)するにあたって良いものが生まれてきたことに楽しみを見出すことができた。
- ・活動する中で、区内のいろいろな方々と知り合うことができ、良かったと思っている。その人脈は別のプロジェクトでもお世話になっており、グループ全体に大きな影響を与えた。また、参加者(PC教室)の一部とは交流が続いており、地域の有力者を紹介してもらう代わりにパソコンを教えるといった関係で、お互いgive&takeを続けている。特に高齢者を対象にしたプロジェクトだけに年長の方々からおそわることは大変多く、貴重な財産となっている。
- ・受講者達から「若い人達からパワーをもらえた」という感想を頂きうれしかった。千代田区民への広知のため、いつかの施設へ連絡したり、公報の方々との出会いもあり人脈が広がった。また、千代田区の取組や施設の活動などを少しかいまみることができた。
- ・ワークショップ中、競馬好きの方に連れられて後樂園まで…。往復1時間の間、一緒に歩きながら、昔されていた仕事のことや趣味の話に花が咲きました。
- ・私の最も印象に残っていることは、シニアの方々のパワーあふれる姿です。こんなにも学ぶ意欲に満ちているとは、想像以上の驚きでした。田舎の祖母にもこのパワーを分けてあげたい。一緒に活動させていただいた私も大きな刺激になりました。その後、参加者のお一人と仲良くさせていただき、色々とお話をしていただきました。人生の先輩からのお言葉を日々かみしめています。その方と出会えたことはとても大きなことだと思います。
- ・審査員の先生方、他のグループの方達と交流できたのは良かったのですが、ノルマが多すぎて、仕事、家庭、子育てに継ぐ親の介護のまっ只中にいる。中心メンバーにとっては、街づくり活動として花咲かせるには忙しすぎます。現在メンバーは20人近くおりますが、地域の人中心から日野原重明先生の主催するホームヘルパー養成講座の卒業生中心へと移っています。せっかく介護のエキスパート達が居るので本当はどんどん地域の方々も参加交流して頂きたいのですが、広報活動に時間をさくことができません。行政も理解して資金提供するまでに時間がかかりすぎるので、手つかずのままです。ただ、健康づくりや介護の知恵に関する仕事としては増えています。きちんと指導料が支払われて仲間づくりができる仕事レベルの方がどうしても優先されて、資金の無い街づくり活動は、後まわしにならざるを得ません。一つの経験として街づくり活動に参加したことはよかったし、今もボランティア活動は月2回続けて地域の人に貢献しております。行政レベルでバックアップしてもらって、地域との連携が図れると一番よいとは思っていますが実行に到るまでが大変なので現在働きかけを断念しています。
- ・子供たちの笑顔が沢山あるときが一番うれしい！また、ずっと特定の子供たちと関わっていると本音のこと(「企画のここがおもしろくて、ここはいまいち」など)正直な意見を言い合える関係になったときはうれしい。地元の人達と「あなたたちの活動は大変意味があり、子供たちにとっても、この町にとってもいいことだからぜひ続けてほしい」と言われたときは感動しました。他のグループと一緒にやるとプライベートでも一緒にスポーツしたり遊んだり、活動以外の場でも関わるようになり、それは大変喜ばしいことです。
- ・パネル展示に母校の神田小、一ツ橋中の校長らが全面的に協力していただいたことは大変

うれしく感じた。また、神田明神、久保さんなど地元神田の皆様のご理解を得ることができ、それなりの評価をいただいた事は感慨深いものがある。スタッフ、会員として神田倶楽部「明神さまの氏子とお神輿」を出版できたことは、仕事とは別の計り知れない満足感に浸ることができた。神田祭りでのフィルム上映会跡に、町会町やお年寄り達にお誉めの言葉を多々いただく事ができたのは涙、涙…である。

※今回の「本づくり」について、ご提案などがありましたらお書き下さい。

- ・価格を付けずに千代田区内の住民に無料配布するぐらいの方が人々に注目をあびるのではないだろうか。
- ・これまで活動した記録や収集した資料などいっぱいあります。活用下さい。なお、今後はトヨタ財団に応募しますのでご支援下さいませ。
- ・現存している区内の国有地の緑マップを是非記載して下さい。それと緑の容積の表示方法はないでしょうか？
- ・本づくりにどの位の予算を考えているのか(発行部数含めて)わかりませんが、発行の目的、その効果などが理解できません。
- ・思わず手に取って立ち読みしてしまうような、かっこいい本にしてほしいです。
- ・本は出版して終わりですか？集大成の本を(アイディア一杯と思います)いよいよ実現させて行くにはお金(助成金)の支援と共にあらゆる所へPR窓口になっていただき、まちづくりサポートの一つ一つを実現への支援を強く提案します。
- ・街づくりにかかわる全ての人の立場から見た街づくりの本にして欲しい。
- ・事例紹介に終わらず「まちづくり」を進める上で必要となる部分がわかるものとして欲しい。
- ・「紹介」ではなく、まちづくり全般の「問題解決」の糸口となるような本を望む。